

	<p>練馬区独立70周年記念事業</p> <p>「練馬こぶしハーフマラソン2017」を開催</p> <p>～5,000人のランナーが練馬路を疾走！～</p>
---	--

と き	平成29年3月26日(日)
ところ	スタート・ゴール：都立光が丘公園(光が丘4-1-1)

26日、練馬こぶしハーフマラソン2017が開催され、5,000人のランナーが早春の練馬路を疾走した。

午前8時、実行委員会会長の前川耀男(まえかわあきお)練馬区長の号砲のもと、都立光が丘公園を一齐にスタート。あいにくの雨となったが、ランナーは思い思いのペースで21.0975kmを駆け抜けた。また、区独立70周年記念事業として、小学生親子と中学生が1.6kmを走る「マイルラン」も初めて行われ、楽しくランニングする親子や、記録を目指し全力疾走する中学生の姿も見られた。

最速タイム1時間8分0秒を記録し、総合男子第1位に輝いた宮部広季さんは、「2連覇を達成できてうれしいです。自己ベストではなかったのですが、楽しく走れました。盛り上がりのある大会なので、これからも自己ベストをめざして頑張りたいです。」と話してくれた。また、1時間22分20秒で総合女子第1位の佐野彩芽さんは、「優勝できてうれしいです。雨の中でしたが走りやすいコースで良かったです。自己ベストが出るように来年も頑張ります。」と話してくれた。



大会の様子

【大会の様子】

日本全国から参加したランナーたちが、笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道の幹線道路のほか、今大会から新たに加わった、練馬区が誇る遊園地「としまえん」内を走るコースなど、バリエーションに富んだコースを楽しんだ。

大会には、谷川真理さん、藤原新さん、練馬区在住の吉田香織さんがゲストランナーとして参加。ロンドン五輪男子マラソン代表の藤原新さんは、沿道の声援に答えて日本トップクラスの走りを披露した。



親子でフィニッシュ!(マイルラン)

【ランナーも来場者も練馬の魅力を満喫】

会場に設けられたイベントブース「よりどりみどり練馬ストリート」には、40近くの団体が出展。大勢の来場者が、大型ビジョンでマラソン中継を観戦したり、ゲストランナーのほか、オリンピック金メダリスト荻原健司さんや金藤理絵選手、練馬区在住で車椅子バスケット日本代表の石川丈則選手によるスペシャルトークショーや飲食エリアなどを楽しんだ。また、レース終了後、練馬産大根を使用したすずしろ汁が振る舞われ、ランナーたちはレースで疲れた体を癒していた。



中学生も全力疾走!(マイルラン)

【大会結果】

男子総合1位 宮部広季(みやべひろき)(1時間8分0秒)

女子総合1位 佐野彩芽(さのあやめ)(1時間22分20秒)

【大会公式ホームページ】<http://www.nerima-halfmarathon.jp/>